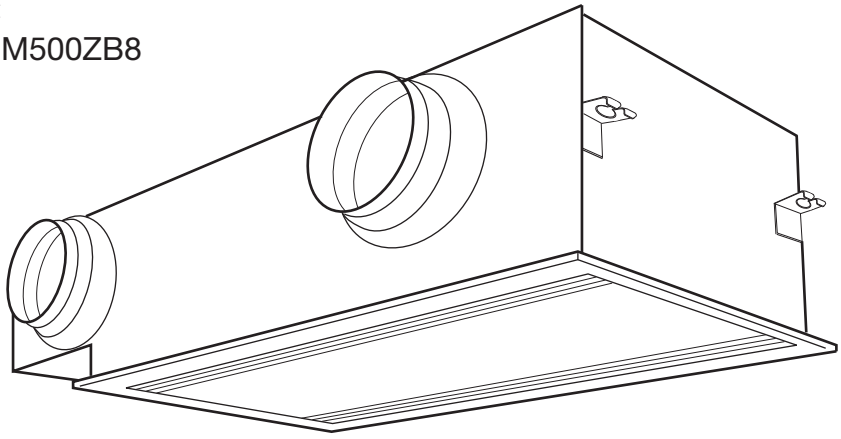
Panasonic

工事説明書
熱交換気ユニット

品番： FY-M150ZB8
FY-M250ZB8
FY-M350ZB8
FY-M500ZB8

本体
FY-M500ZB8



カセット式ルーバー（別売）
FY-RLP507

（本体にカセット式ルーバーを装着した図です）

工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。**特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。**

・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

もくじ

安全上のご注意……2〜3
お願い……4
別売品/取付参考図……5
各部の名称と寸法……6
取り付けかた……7〜11
システム構成……12
システム構成別工事 ……12〜15
応用システム……16〜17
各種機能設定……17
試運転……18
異常があった場合……19

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

仕様変更・改造は絶対にしない
火災・感電・けがの原因となります。

室内空気吸込口は高温や高湿度空気を吸い込む位置には設置しない
機器内部に影響を与え、感電・火災の原因になることがあります。

据え付けは、お買い上げの販売店または工事店に依頼する
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電、火災などの原因になります。

据え付け工事は、この工事説明書に従って確実におこなう
据え付けに不備があると、感電、火災などの原因になります。

据え付けは、質量に耐える強度のある所に工事説明書に従って確実におこない、強度不足の場合には補強する
強度不足や取り付けが不完全な場合は、感電、火災、ユニットの落下などにより、けがの原因になります。

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および、工事説明書に従って確実に施工し、必ず専用回路を使用する
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

外気取入口は、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置に設置する
室内が酸欠の原因になることがあります。

外気取入口には、防鳥網または同等のものを取り付ける
鳥巣などの異物があるときは取り除いてください。
室内が酸欠の原因になることがあります。

アース工事をおこなう
（アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない）
アース線が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置はしない

万一ガスが漏れて本体の周囲にたまると、火災の原因になることがあります。

調理室など油煙の多い所には本体および室内吸込口を設置しない

火災の原因になることがあります。

高温や直接炎が当たる所には本体および室内吸込口を設置しない

火災の原因になることがあります。

機械、化学工場および研究施設など、酸・アルカリ・有機溶剤・塗料などの有害ガス、腐食性成分を含んだガスが発生する場所には本体および室内吸込口を設置しない

ガスによる中毒や、本体内部の腐食、劣化が発生し、火災の原因になることがあります。

浴室などの湿気の多い所や、高湿度の蒸気を発生する場所には本体および室内吸込口を設置しない

本体内部で結露が発生し、感電や火災の原因になります。

室内温度が外気温度に対して著しく低くなる環境下に機器を設置しない

感電や火災の原因になります。

保守点検のときは必ずスイッチを切り、専用ブレーカーを「OFF」にしてからおこなう

感電の原因になります。

据え付け工事部品は、必ず指定部品（付属部品も含む）を使用する

指定部品を使用しないと、ユニット落下、火災、感電などの原因になります。

電源電線および外部電線は、電源カバーが浮き上がらないように確実に取り付ける

電源カバーの取り付けが不完全な場合、ホコリや粉塵により端子接続部の発熱、火災、感電の原因になります。

定格電圧で使用する

火災、感電などの原因になることがあります。

専用ブレーカーを取り付ける（設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です）

漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。

金属製のダクトを使用して木造の造営物のメタルラス、ワイヤラス、または金属板張りを貫通する場合には、ダクトと壁とは電気的に絶縁する

感電、漏電の原因になることがあります。

室外側のダクトは、室外側に下り勾配になるように取り付ける

不完全な場合は、屋内に浸水し、感電や火災の原因になることがあります。

室外側（必要により室内側も含む）のダクトは、結露防止のための断熱をおこなう

不完全な場合は、屋内に浸水し、感電や火災の原因になることがあります。

電源電線および外部電線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する

接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。

断熱層の内側（外気と断熱された空間）に設置する

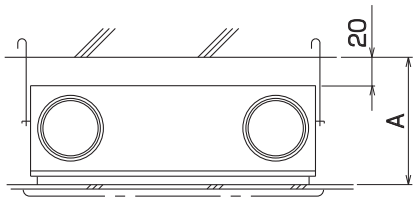
断熱層の外側（外気に近い空気条件の空間）に設置しますと冬期に本体内部で結露が発生し、感電や火災の原因になります。

天井内が高温・多湿の場合には、天井内に換気設備を設ける

火災、漏電の原因になることがあります。

お願い

■この熱交換気ユニットは天井裏高さが下表に示す寸法以上確保できる場所に取り付けてください。



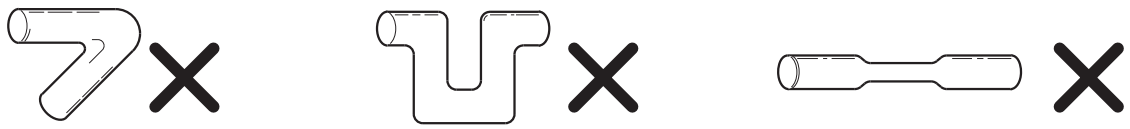
単位：mm

品　　番	天井裏高さ A
FY-M150ZB8	410
FY-M250ZB8	
FY-M350ZB8	
FY-M500ZB8	418

■湯沸器の近くなどには取り付けないでください。

■次のようなダクト工事はしないでください。

(1) 極端な曲げ　(2) 多数回の曲げ　(3) 接続ダクト径を小さくする



■厨房室や風呂場などに使用しないでください。
油煙の多い場所で使用されますと、フィルターや熱交換素子が目づまりを起こし、使用不能になる場合があります。また、浴室など湿気の多い場所でご使用されますと、本体内で結露水が発生し、感電やショート、結露水滴下の原因になります。

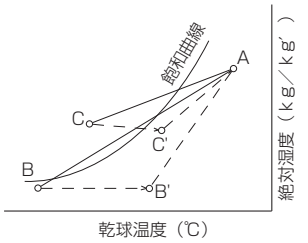
■地域によっては、ジャバラを使用できない場合がありますので十分ご注意ください。
（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください）

■共同ダクトへ排気する場合には、建築基準法施工令により防火の役割を果たすものを使用することが義務づけられていますので、２mの鋼板立ち上りダクトを取り付けてください。

■熱交換気ユニットは周囲温度40℃以下でお使いください。
熱交換気ユニットに直接炎が当たるおそれのある場所には絶対に取り付けないでください。
40℃以上の雰囲気で長時間使用しますと樹脂部分の変質・変形や故障の原因にもなりますので十分ご注意ください。

■外風防止について
逆風によるファンの逆回転が想定できる場合は、外風侵入防止策として、「電動ダンパー（客先手配）」を室外ダクト側に取り付けてください。

■結露・結霜についてご注意ください。
右図に示すように、高温側吸込空気条件Ａ、低温側吸込空気条件Ｂを空気線図上にプロットし、高温側空気Ａが熱交換気ユニットにより熱交換されて、Ｃ点のように、飽和曲線をはみ出す空気条件となる場合には、熱交換気ユニットに結露あるいは結霜が生じます。このような場合にはＣ点が飽和曲線より内側のC’点になるように低温側空気ＢをB’まで加熱してから使用してください。
当社熱交換気ユニットは、JISに基づき右記条件で結露水が滴下しないことを確認しております。
右記表以上の厳しい条件でご使用になった場合には、結露、滴下することがあります。



JIS　B　8628全熱交換器　付属書5（規定）露付き試験方法

単位℃

分類	室内条件		室外条件		運転状態	試験期間
	乾球温度	湿球温度	乾球温度	湿球温度		(h)
夏季冷房状態	22±1	17±2	35±1	29±2	運転	6時間
冬季暖房状態	20±1	14±2	−5±2	−	運転	6時間
冬季暖房状態	20±1	14±2	−15±2	−	停止	6時間

■霧が発生しやすい地域について
霧などの高湿度な空気を吸い込むと、本体内に結露が生じて結露水が本体内に漏れることがあります。
このような場合は運転を停止してください。

■虫などの侵入について
●虫の侵入防止のため停止する場合は、必ず「熱交換」に切り換えてから運転スイッチを「切」にして、停止してください。「普通換気」でご使用の場合でも、一度「熱交換」に切り換えて、約30秒以上経過したあと、運転スイッチを「切」で停止してください。「普通換気」で停止しますと、ダンパーが切り換わらず、虫が室内に侵入しやすくなります。
●本製品は新鮮な外気を室内に取り入れるため、粗塵用フィルターを給気側に設置してありますが、小さい虫が多い環境や、給排気口の周囲に街灯などがあり、虫を吸引しやすい環境の場合、粗塵用フィルターで阻止できず、フィルター周囲や本体のすき間から室内へ吸引されることがあります。このような場合は、中性能フィルターの併用をおすすめします。
中性能フィルターは、本体設置後でも取り付け可能です。お買い上げの販売店または工事店へご相談ください。

フィルター種類	フィルター性能
粗塵用フィルター（標準搭載）	室内に入る大きなゴミ・ホコリ・虫などを取り除きます。
粗塵用フィルター（標準搭載）＋中性能フィルター	小さな虫を取り除きます。 ※ただし、小さな虫については、完全に防止することができません。

別売品

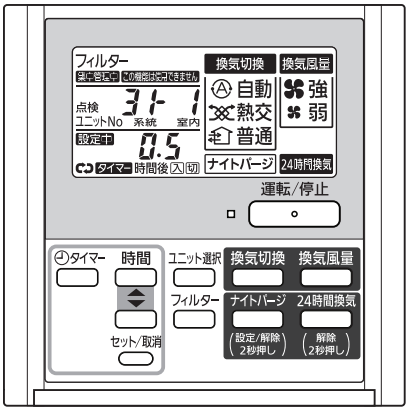
■カセット式ルーバー

熱交換ユニット品番	カセット式ルーバー品番
FY-M150ZB8	FY-RLP157
FY-M250ZB8 FY-M350ZB8	FY-RLP257
FY-M500ZB8	FY-RLP507

■防振用吊金具

品　　番	質量（kg）	防振用吊金具品番
FY-M150ZB8	31	FY-03BGH
FY-M250ZB8	35	
FY-M350ZB8	43	FY-04BGH
FY-M500ZB8	56	

■リモコンスイッチ（熱交換ユニット専用リモコン）
FY−EB41SR（別売品）
（フタを開けた状態です）

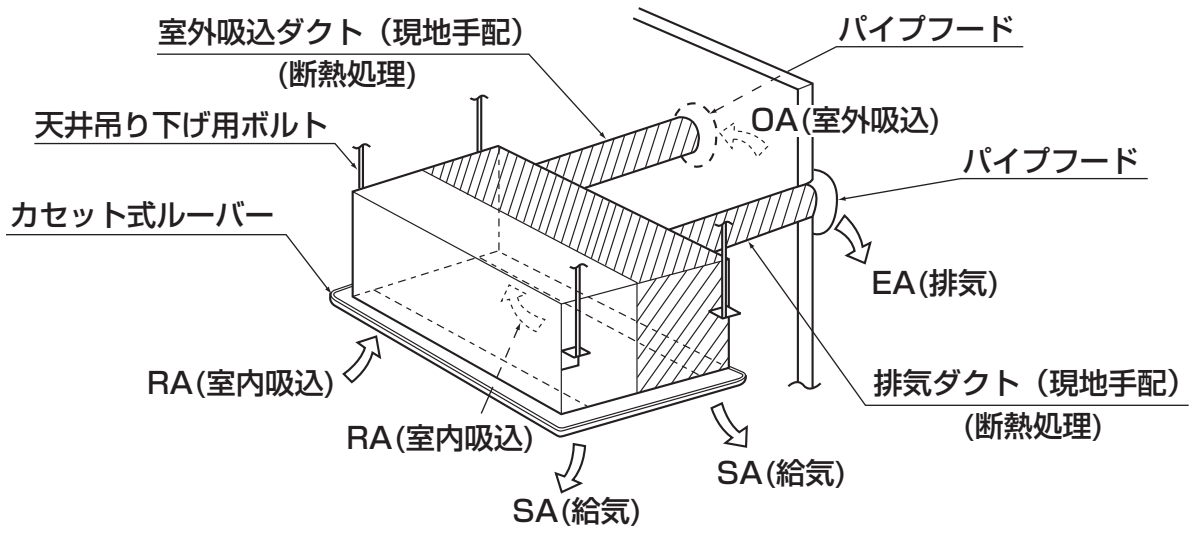


■ダクト部材

	ダクト呼び径 φ100	ダクト呼び径 φ150	ダクト呼び径 φ200	備　　考
パイプフード	FY-MCX042	FY-MCX062	FY-MCX081	ステンレス製
防火ダンパー	FY-04DMB	FY-06DMB	————	点検口付

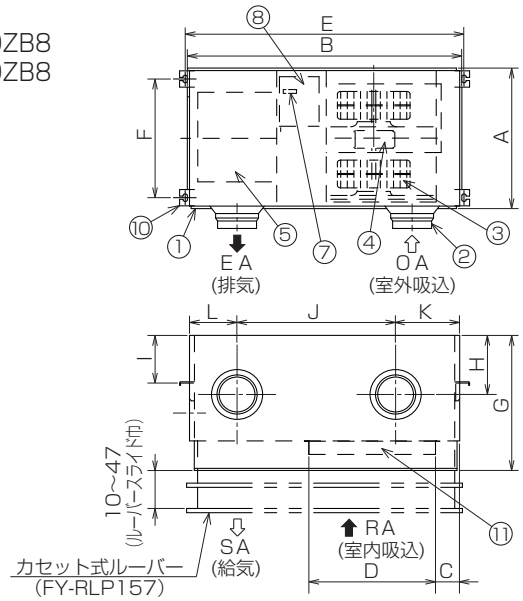
取付参考図

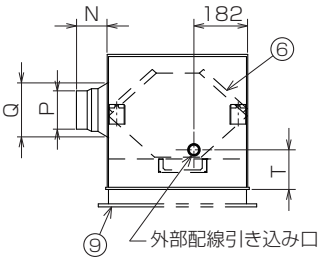
イラストは FY-M150ZB8、FY-M250ZB8 を示します。



各部の名称と寸法

品番 FY-M150ZB8
FY-M250ZB8





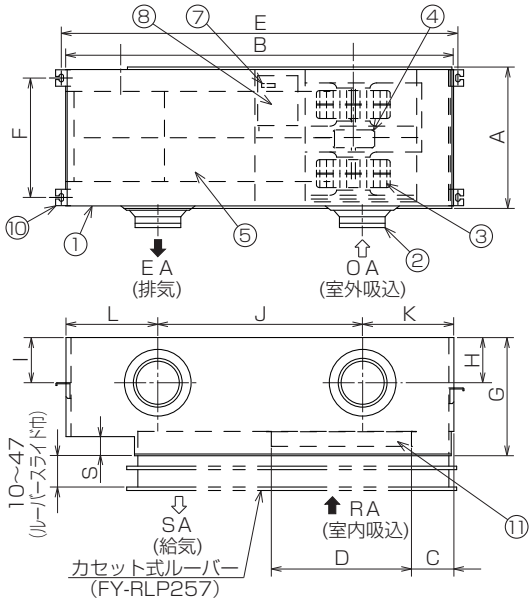
単位：mm

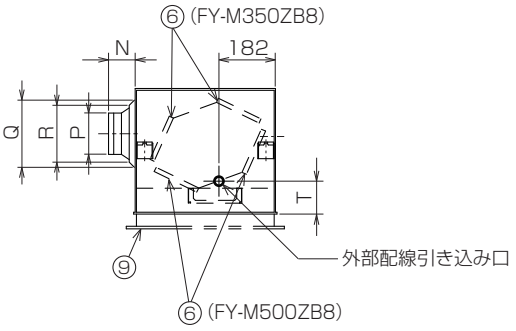
適用ダクト

品番	呼び径
FY-M150ZB8	φ100
FY-M250ZB8	φ150

番号	名称	数量	材質	備考	番号	名称	数量	材質	備考	番号	名称	数量	材質	備考
1	フレーム	1	亜鉛鋼板		5	熱交換素子	1	防燃紙+樹脂		9	カセット式ルーバー	1	鋼板	別売品
2	アダプター	2	ABS樹脂		6	フィルター	2	不織布	質量法82%	10	吊り金具	4	亜鉛鋼板	13X30長穴
3	ファン	2	ABS樹脂		7	ダンパーモーター	1			11	電装ボックス	1	亜鉛鋼板	
4	モーター	1			8	ダンパー	1							

品番 FY-M350ZB8
FY-M500ZB8





単位：mm

適用ダクト

品番	呼び径
FY-M350ZB8	φ150
FY-M500ZB8	φ200

番号	名称	数量	材質	備考	番号	名称	数量	材質	備考	番号	名称	数量	材質	備考
1	フレーム	1	亜鉛鋼板		5	熱交換素子	2	防燃紙+樹脂	注)1	8	ダンパー	1		
2	アダプター	2	ABS樹脂		6	フィルター	4	不織布	質量法82% 注)1 注)2	9	カセット式ルーバー	1	鋼板	別売品
3	ファン	2	ABS樹脂							10	吊り金具	4	亜鉛鋼板	13X30長穴
4	モーター	1			7	ダンパーモーター	1			11	電装ボックス	1	亜鉛鋼板	

注）1. FY-M350ZB8、FY-M500ZB8の熱交換素子は2個、フィルターは4枚です。
注）2. FY-M500ZB8のフィルターは熱交換素子の下面側にあります。

単位：mm

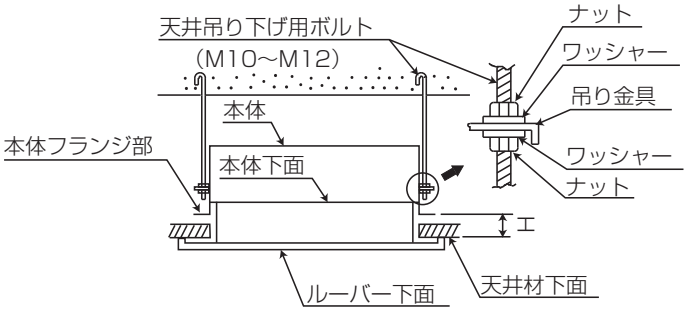
品番	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	N	P	Q	R	S	T
FY-M150ZB8	461	906	68	356	952	379	400	210	130	556	215	135	80	φ98	φ140			95
FY-M250ZB8		1056			1103					660		181	95	φ142	φ220			
FY-M350ZB8		1297	145		1343			208		701	298	298	95			φ161	42	
FY-M500ZB8		1523	142		1569		408	168	134	916	297	310	106	φ195	φ246	φ213	43	100

取り付けかた

1.本体の取り付け

①本体を天井吊り下げ用ボルト、ナット、ワッシャー（市販品）で固定してください。

■取り付けは、製品の質量に十分耐えるようにしっかりと、水平に取り付けてください。振動やダンパーユニットの動作不良の原因となります。

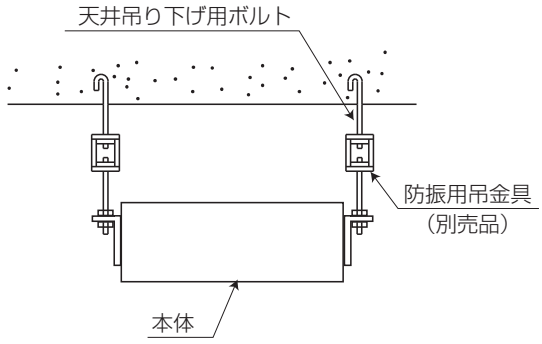


単位：mm

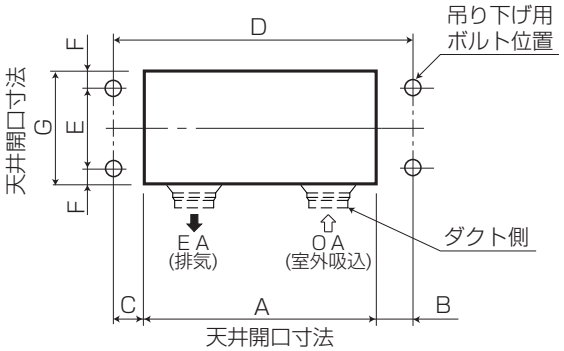
品　番	H
FY-M150ZB8	10～47
FY-M250ZB8	
FY-M350ZB8	
FY-M500ZB8	

お願い

● 特に振動防止に注意する必要がある場合は、下表の防振用吊金具（別売品）をご使用ください。



②天井開口寸法（パネルを取り付ける前に天井面を開口してください）



天井内より見た時

単位：mm

品　番	A	B	C	D	E	F	G
FY-M150ZB8	916	18	18	952	379	51	481
FY-M250ZB8	1067			1103			
FY-M350ZB8			258	1343			
FY-M500ZB8	1348		203	1569			

取り付けかた(続き)

2.電気工事

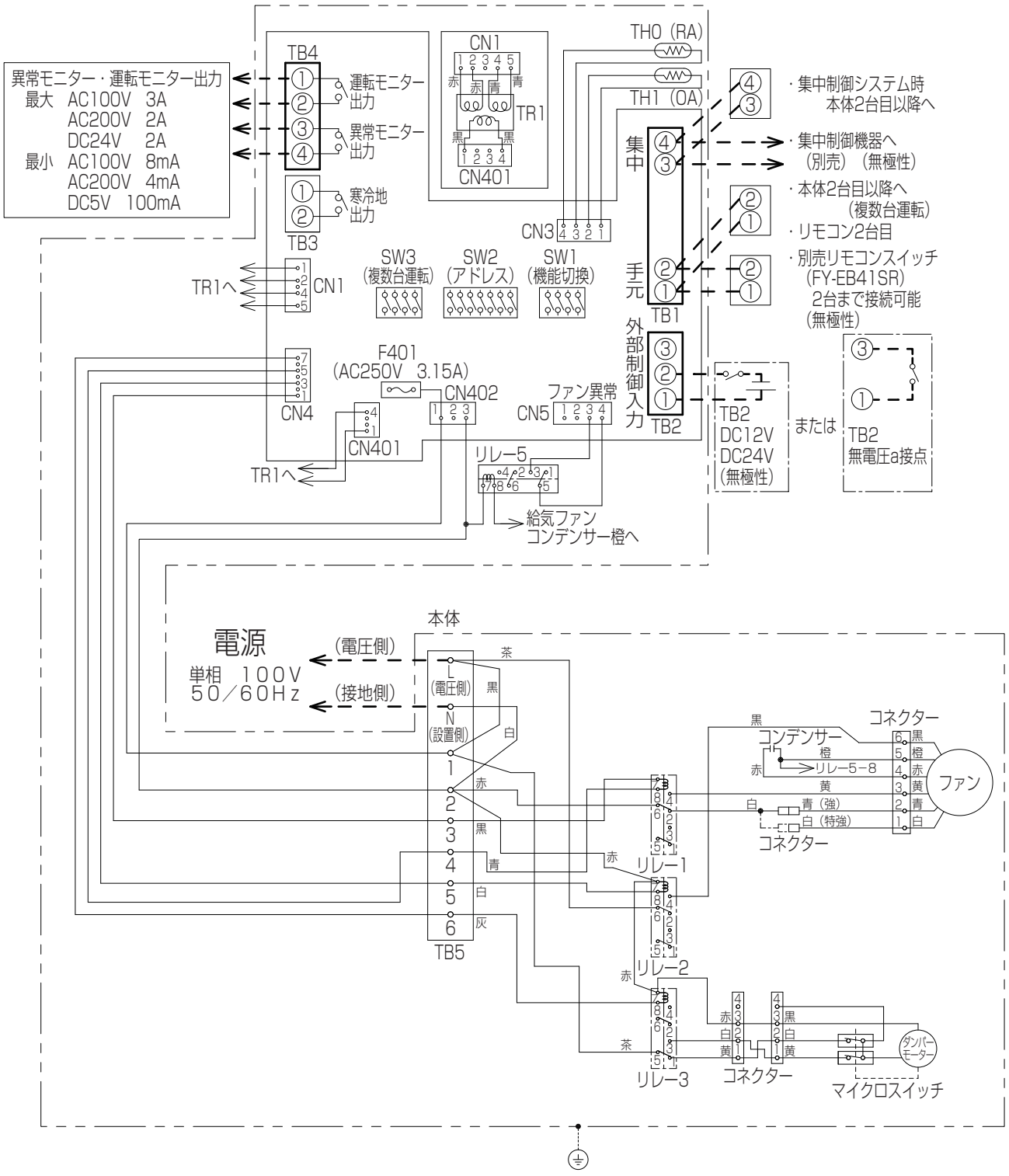
⚠ 警告

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および、工事説明書に従って確実に施工し、必ず専用回路を使用する

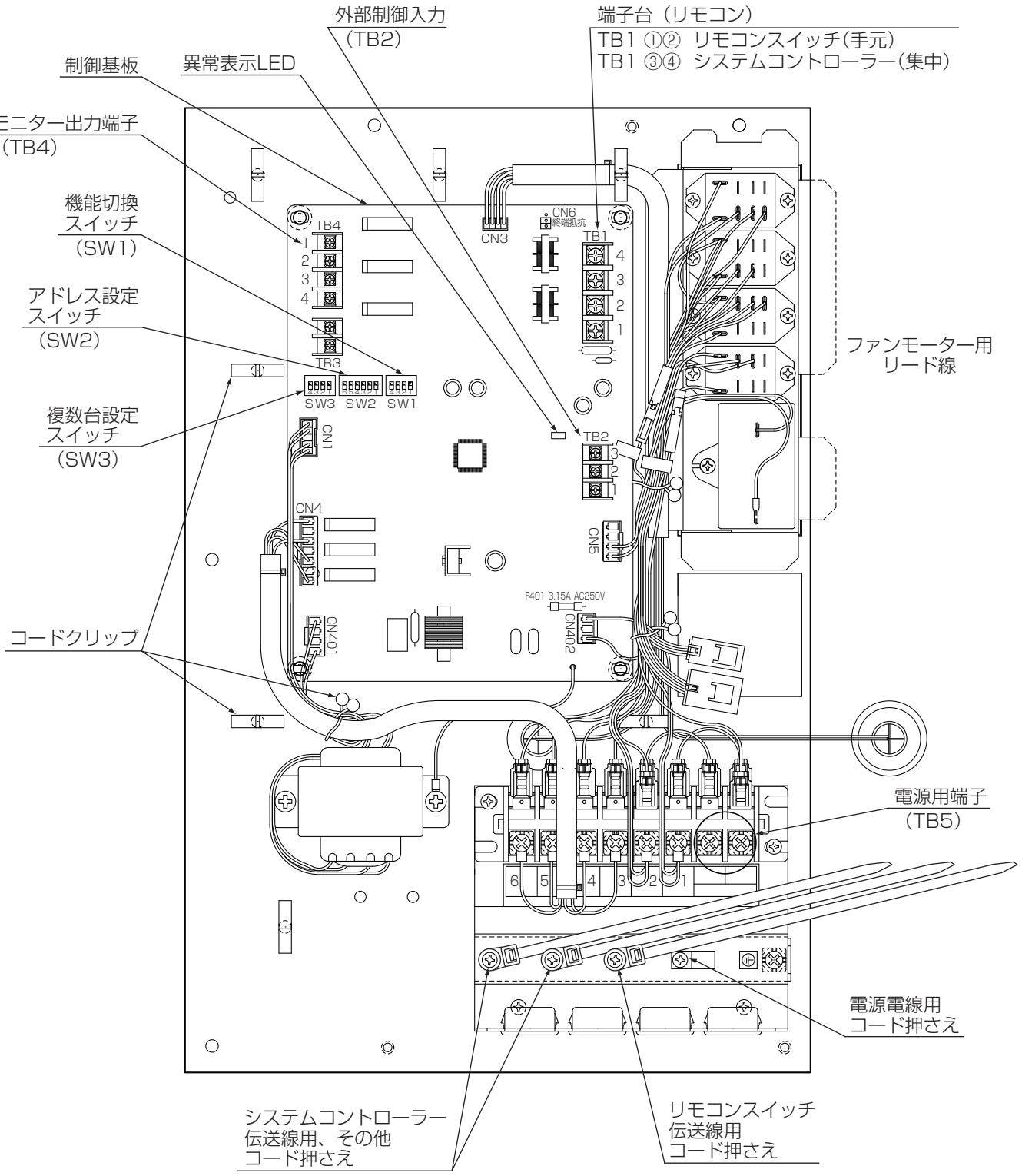
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

■結線図の破線部分の接続をおこなってください。

品番　FY-M150ZB8　FY-M250ZB8　FY-M350ZB8　FY-M500ZB8

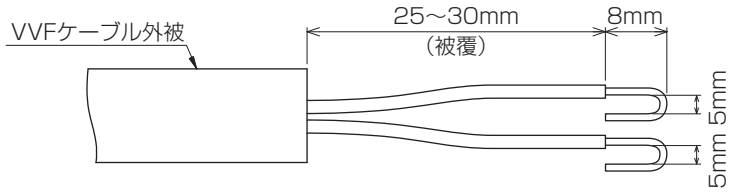


■熱交換気ユニットのきめ細かい制御をSW1～SW3を切り換えることによりおこなうことができます。
各SWの詳細の設定方法はそれぞれの項目をご覧ください。



取り付けかた(続き)

■電源電線は、VVFケーブルφ1.6またはφ2を使用してください。

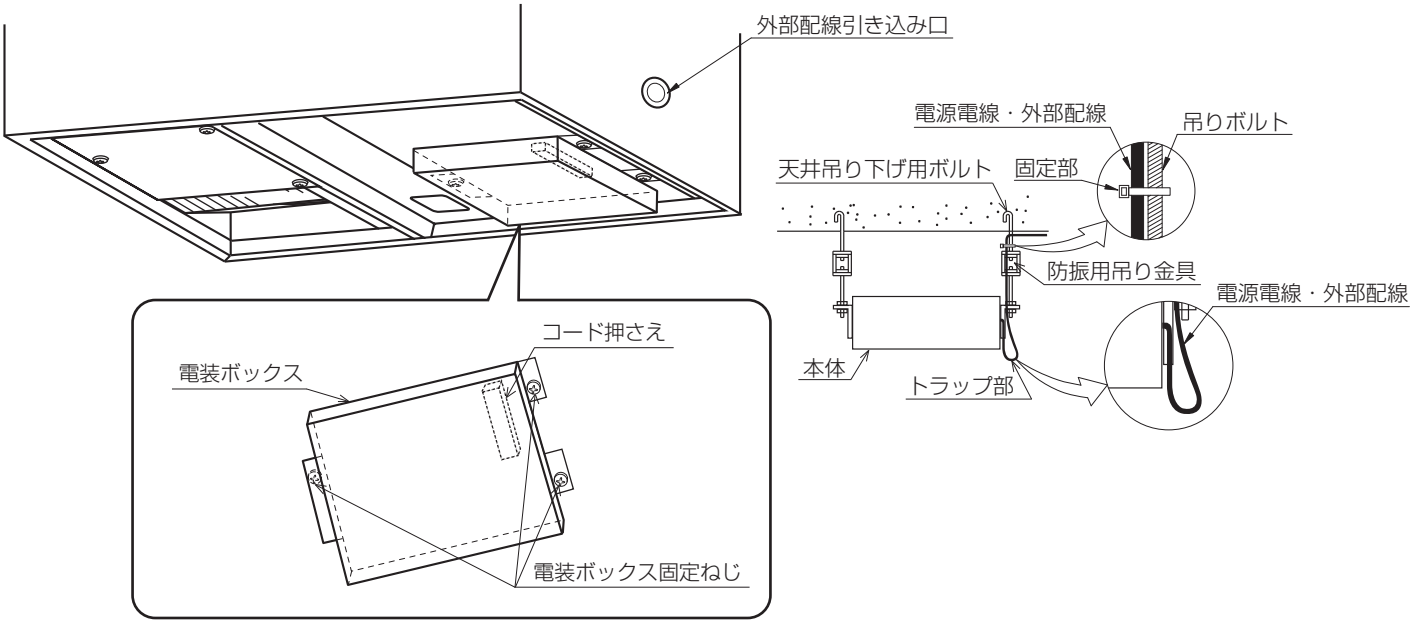


- 端子台ねじは締め付けトルク2N·mで確実に締め付けてください。
  （締め付け不良は発熱による火災の原因になります。）

■電源電線・外部配線は、「外部配線引き込み口」より本体に引き込んでください。

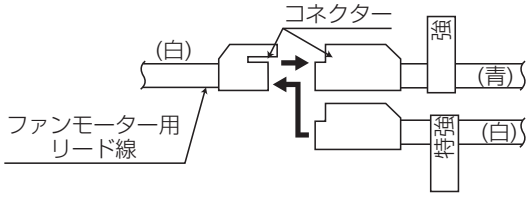
■結線をおこなう場合は、以下に従っておこなってください。

- 電装ボックスの電装ボックス固定ねじ(3本)をはずし、電装ボックスを開けて確実に結線をおこなってください。
- 端子台から出る電源電線・外部配線は、コード押さえで確実に固定してください。
- 電源電線・外部配線を伝わって、端子台に水が浸入するおそれがあるため、電源電線・外部配線にトラップを設けるなどの処理をしてください。（下図参照）



■風量を多く必要とする場合、またはダクトが長い場合には、
以下に従って結線を「強」から「特強」に切り換えてください。

- 電装ボックスの電装ボックスカバー固定ねじ(3本)をはずし、電装ボックスカバーを開けてください。
- 電装ボックス内のファンモーター用リード線を、下図のように「強」から「特強」につなぎ換えてください。
  その際、コネクターは確実に奥まで挿入してください。

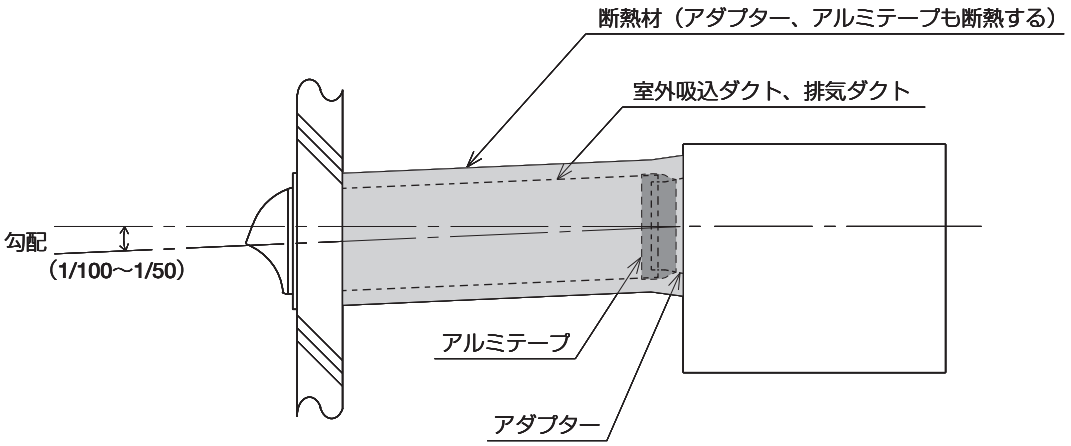


お願い

- スイッチ1台で本体複数台運転する場合、運転できる台数は10台までです。
- 電源は必ず各品番に対応したものをご使用ください。異なる電源をご使用になりますとモーターの焼損の原因となります。
- アース工事はD種接地工事を「電気設備技術基準」にしたがっておこなってください。
- 結線終了後、電源を入れる前に再度、結線をまちがえていないか確認してください。

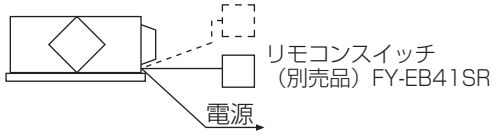
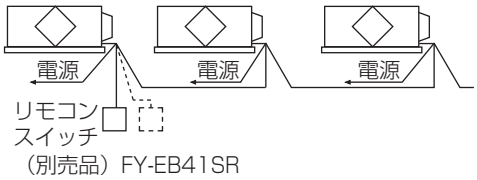
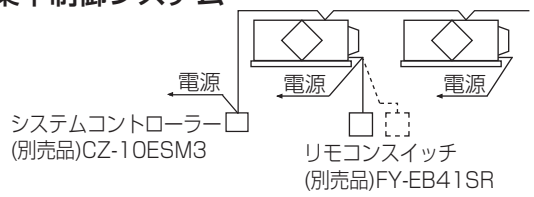
3.ダクトの取り付け

①ダクトは、適用ダクト（「各部の名称と寸法」6ページ参照）を使用して本体に取り付けてください。
※室外側ダクトは、2本とも室外側へ下り勾配になるように取り付け、水の浸入を防いでください。
（勾配　1/100～1/50）
※金属製ダクトを使用して木造の造営物のメタルラス、ワイヤラス、または金属板張りを貫通する場合には、ダクトと壁とは電気的に絶縁してください。（電気設備技術基準、および内線規程をご参照ください）
②アダプターとダクトの接続部にアルミテープを空気が漏れないように巻きつけてください。
③室外側ダクト２本（室外吸込および排気ダクト）には、結露防止のための断熱を必ずおこなってください。
（材質：グラスウール、厚み25mm）



システム構成

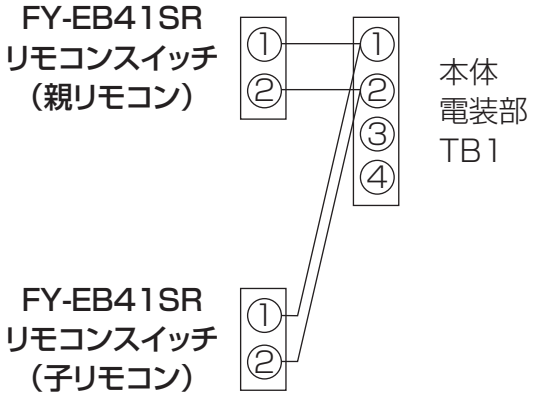
■この製品はシステム構成により、機能、電気工事が異なります。
下記に示すシステム例に対応した電気工事を実施してください。

システム例	運転操作方法	ご　注　意	参照工事項目
独立システム  	リモコンスイッチにより操作します。	2リモコンの場合は、後押し優先となり、2台のリモコンは同一表示となります。	システム構成別工事1
熱交換気ユニット複数台制御システム  	リモコンスイッチより複数台の熱交換気ユニットを一括で操作します。		システム構成別工事12
集中制御システム  	リモコンスイッチ、システムコントローラーにより熱交換気ユニットを操作します。	システムコントローラーをご使用の場合は、リモコンスイッチと後押し優先となります。	システム構成別工事13

システム構成別工事

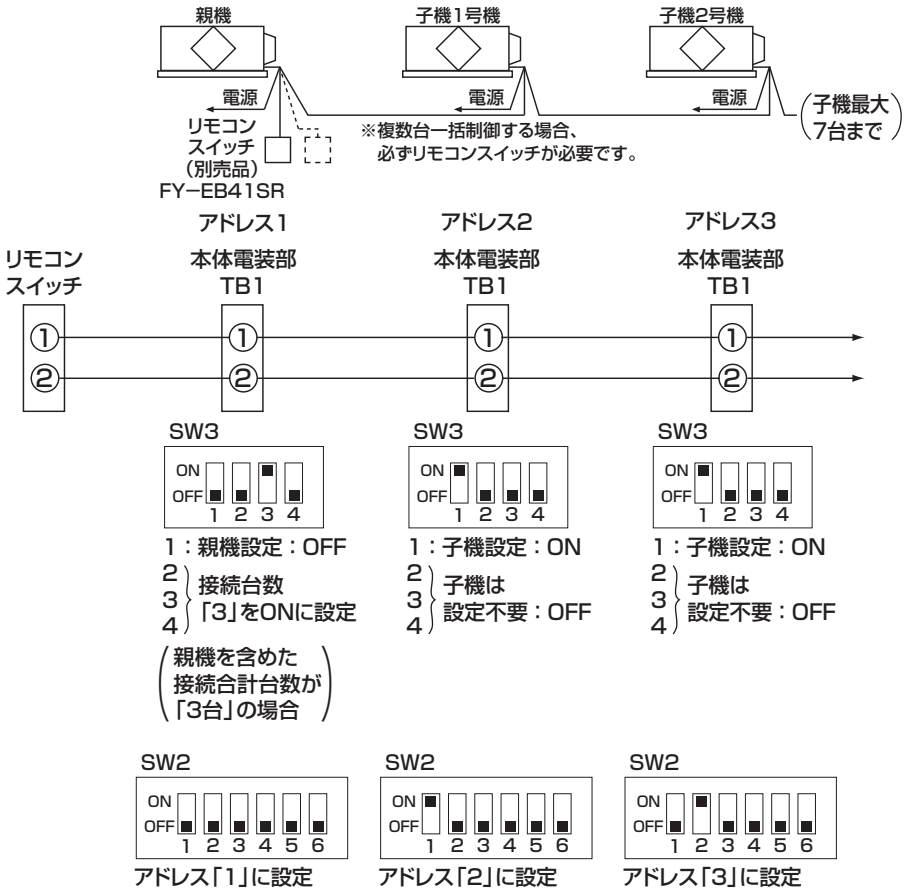
1 リモコンスイッチ(FY−EB41SR)と接続する場合

リモコンスイッチの取り付け方法は、リモコンスイッチ付属の工事説明書に従ってください。

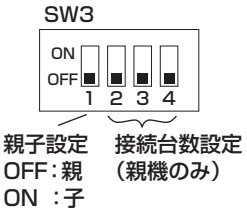


・伝送線（現地手配）無極2心
（推奨：VCT、VCTF、MVVS）
最長500m／0.5mm^2～1.25mm^2
・本体電装部とリモコンスイッチの入力端子の①②を確実に接続してください。（無極性）
※1：リモコンを2台使用する場合、
「子リモコン」は「子リモコン」の設定をおこなってください。
（詳しくはリモコンスイッチの工事説明書をご覧ください。）

2 熱交換換気ユニットを複数台制御する場合



・伝送線（本体間）（現地手配）
無極2心
（推奨：VCT、VCTF、MVVS）
最長500m／0.5mm^2～1.25mm^2
・本体間渡りの総配線長200m・
リモコンスイッチ用の端子TB1の
①②を子機1～7号機に順に渡してください。（無極性）
・子機のSW3-1（子機ー親機設定スイッチ）を「ON：子」側に必ず切り換えてください。（出荷時：「OFF：親」）
切り換え忘れると動作しません。



・親機のSW3の「2」「3」「4」を組み合わせ接続する台数の合計数（親機+子機）に応じて設定してください。
・SW2の組み合わせによりアドレスを設定してください。
（異常発生時：リモコンに異常アドレスNO.と異常内容を表示させます。）

■親機を含めた接続合計台数設定
（親機のSW3のみ）

○：ON側　×：OFF側

接続台数計（親機+子機）	SW3-1	SW3-2	SW3-3	SW3-4
1	×	×	×	×
2	×	○	×	×
3	×	×	○	×
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○
6	×	○	×	○
7	×	×	○	○
8	×	○	○	○

■アドレス設定
（親機および各子機のSW2）

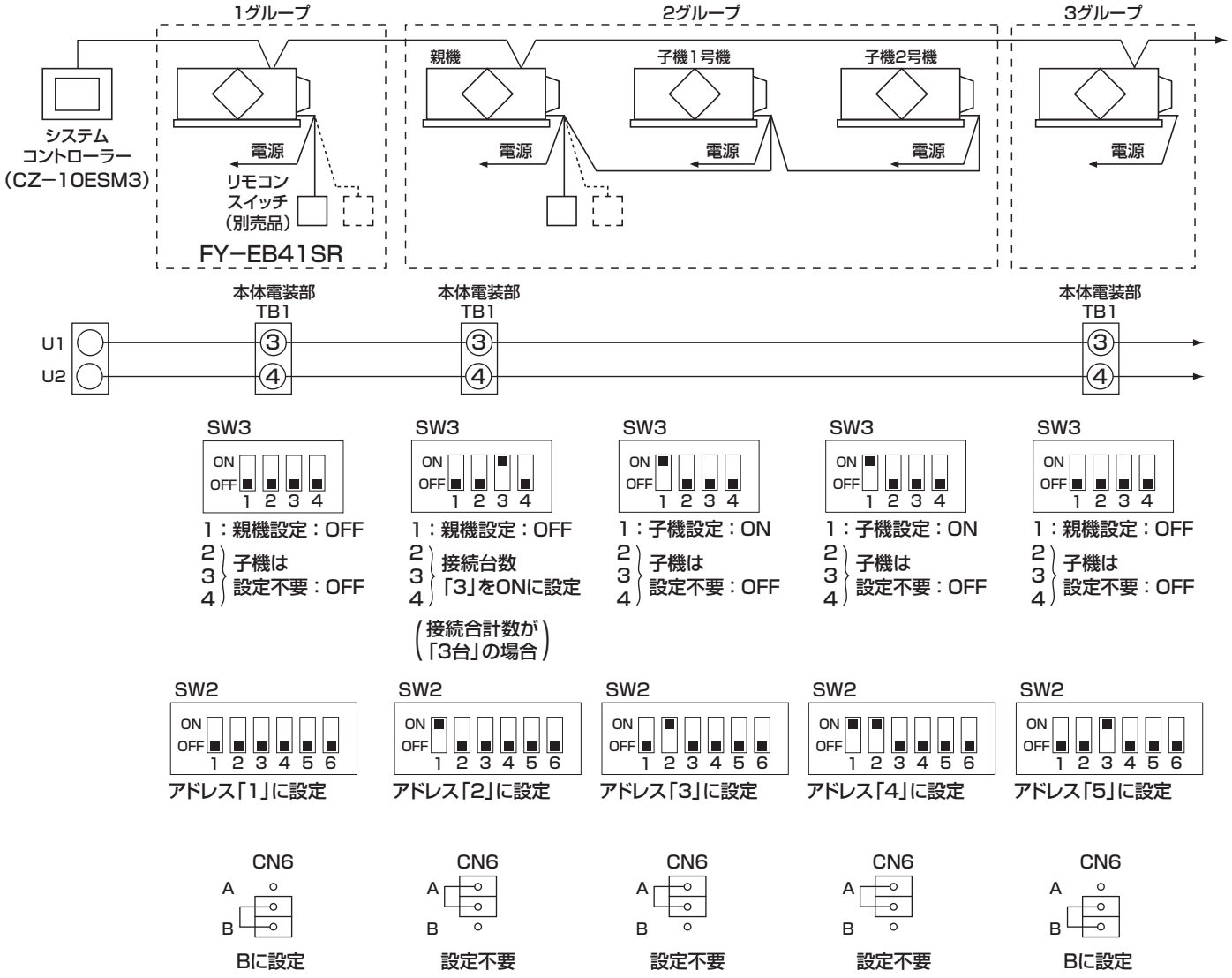
○：ON側　×：OFF側

アドレスNo.		SW2-1	SW2-2	SW2-3	SW2-4	SW2-5	SW2-6
親機	1	×	×	×	×	×	×
子機1台目	2	○	×	×	×	×	×
子機2台目	3	×	○	×	×	×	×
子機3台目	4	○	○	×	×	×	×
子機4台目	5	×	×	○	×	×	×
子機5台目	6	○	×	○	×	×	×
子機6台目	7	×	○	○	×	×	×
子機7台目	8	○	○	○	×	×	×

システム構成別工事(続き)

3 集中管理制御(S-LINK配線)をおこなう場合

詳しくはシステムコントローラーの工事説明書をご覧ください。



※集中管理制御をおこなう場合：接続しているグループ（親機）のうち、2グループ（2か所）のCN6（終端抵抗）をB側に設定してください。

・伝送線（本体間）（現地手配）無極2心
（推奨：VCT、CVV、VCTF、MVVS、CPEVS、KPEVS）
最長1000m／0.5mm^2～2.0mm^2

※システムコントローラーには親機のアドレスNO.が液晶に表示されます。
子機のアドレスNO.は液晶モニターに表示されません。

・システムコントローラーで、64グループ（64台）の接続が可能です。
・システムコントローラーと各グループの親機の本体接続端子台TB1③④とを配線してください。
（無極性）
・上記2グループのようにグループ内で複数台制御する場合は、2『熱交換換気ユニットを複数台制御する場合』(P13)を参照願います。

アドレス設定方法

①システムコントローラーによる設定
　システムコントローラー（CZ-10ESM3）の工事説明書をご覧ください。
②本体電装部の基板上のSW2による設定
　※停電時またはブレーカーOFF時でもグループアドレスは設定状態を記憶しています。

■アドレスNo.設定表　　○：ON側　　×：OFF側

アドレスNo.	SWのスイッチNo.						アドレスNo.	SWのスイッチNo.						アドレスNo.	SWのスイッチNo.						アドレスNo.	SWのスイッチNo.					
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
1	×	×	×	×	×	×	17	×	×	×	×	○	×	33	×	×	×	×	×	○	49	×	×	×	×	○	○
2	○	×	×	×	×	×	18	○	×	×	×	○	×	34	○	×	×	×	×	○	50	○	×	×	×	○	○
3	×	○	×	×	×	×	19	×	○	×	×	○	×	35	×	○	×	×	×	○	51	×	○	×	×	○	○
4	○	○	×	×	×	×	20	○	○	×	×	○	×	36	○	○	×	×	×	○	52	○	○	×	×	○	○
5	×	×	○	×	×	×	21	×	×	○	×	○	×	37	×	×	○	×	×	○	53	×	×	○	×	○	○
6	○	×	○	×	×	×	22	○	×	○	×	○	×	38	○	×	○	×	×	○	54	○	×	○	×	○	○
7	×	○	○	×	×	×	23	×	○	○	×	○	×	39	×	○	○	×	×	○	55	×	○	○	×	○	○
8	○	○	○	×	×	×	24	○	○	○	×	○	×	40	○	○	○	×	×	○	56	○	○	○	×	○	○
9	×	×	×	○	×	×	25	×	×	×	○	○	×	41	×	×	×	○	×	○	57	×	×	×	○	○	○
10	○	×	×	○	×	×	26	○	×	×	○	○	×	42	○	×	×	○	×	○	58	○	×	×	○	○	○
11	×	○	×	○	×	×	27	×	○	×	○	○	×	43	×	○	×	○	×	○	59	×	○	×	○	○	○
12	○	○	×	○	×	×	28	○	○	×	○	○	×	44	○	○	×	○	×	○	60	○	○	×	○	○	○
13	×	×	○	○	×	×	29	×	×	○	○	○	×	45	×	×	○	○	×	○	61	×	×	○	○	○	○
14	○	×	○	○	×	×	30	○	×	○	○	○	×	46	○	×	○	○	×	○	62	○	×	○	○	○	○
15	×	○	○	○	×	×	31	×	○	○	○	○	×	47	×	○	○	○	×	○	63	×	○	○	○	○	○
16	○	○	○	○	×	×	32	○	○	○	○	○	×	48	○	○	○	○	×	○	64	○	○	○	○	○	○

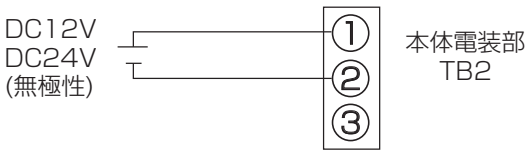
●システムコントローラーを使用したシステムに接続する熱交換気ユニットすべてに
**　アドレスの設定が必要です。**
●アドレスは親機、子機に関係なく設定し、アドレスが重複しないようにしてください。
●複数台制御の子機は、システムコントローラーから個別に制御することができません。

応用システム

1 空調機などの外部機器と連動する場合

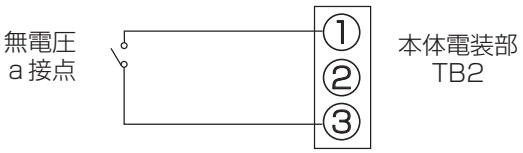
■熱交換気ユニットのリモコンスイッチと、空調機などの外部機器のスイッチとは後押し優先となります。

(1) 外部機器の出力信号がDC12VまたはDC24Vの場合(レベル信号)



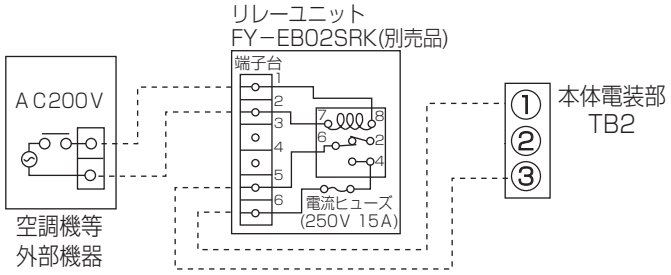
・伝送線(現地手配)
無極2心 (推奨：VCTF)
最長：外部機器の説明書にしたがってください。0.3mm^2
・外部機器からの運転信号を外部入力端子(TB2)の①②に接続してください。(無極性)

(2) 外部機器の出力信号が無電圧ａ接点の場合(レベル信号)



・伝送線(現地手配)
無極2心 (推奨：VCTF)
最長500m　0.3mm^2
・外部機器からの運転信号を外部入力端子(TB2)の①③に接続してください。(無極性)

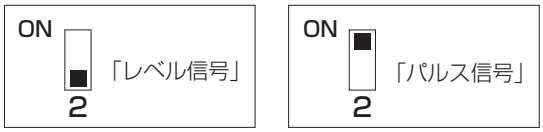
(3) 外部機器の出力信号が単相200Vの場合



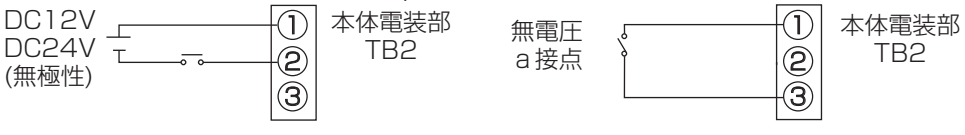
・当社リレーユニット(別売品)を使用して無電圧ａ接点を取り出してください。
(詳細は別売品のリレーユニットの工事説明書をご覧ください)

2 ビル管理システム等パルス出力機器と連動する場合

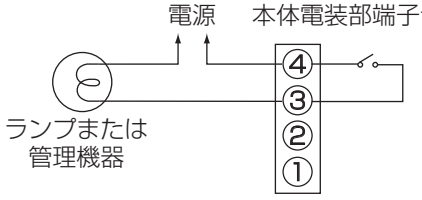
(1) SW1−2 (レベル／パルス)をONにします。



(2) ビル管理システム等のパルス信号を本体電装部外部入力端子TB2に接続します。
(入力信号により接続端子が異なります)



3 異常信号を出力したい場合

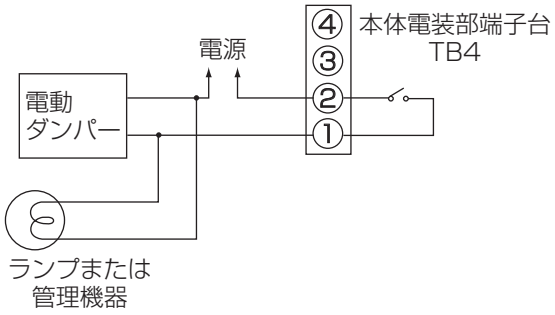


・本体電装部端子台モニター出力端子 TB4の③④に接続してください。

接点定格

最大	単相100V 3A	最小	単相100V　8mA
	単相200V 2A		単相200V　4mA
	DC24V　2A		DC5V　100mA

4 電動ダンパーなどと接続したり運転信号を出力したい場合



・本体電装部端子台モニター出力端子 TB4の①②に接続してください。

接点定格

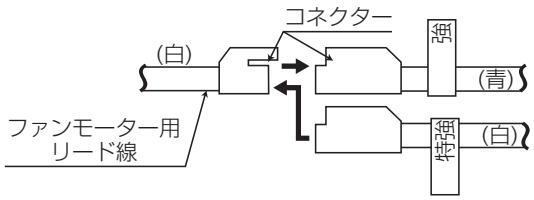
最大	単相100V 3A	最小	単相100V 8mA
	単相200V 2A		単相200V 4mA
	DC24V 2A		DC5V 100mA

各種機能設定

1 給気風量、排気風量を「強」から「特強」にしたい場合 (工場出荷時設定・「強」)

換気風量が不足する場合に風量を「強」から「特強」に切り換えてください。

●電装ボックス内のファンモーター用リード線を、下図のように「強」から「特強」につなぎ換えてください。



2 フィルターメンテナンス時間を変更したい場合

フィルターメンテナンス時間は、3000時間に設定されています。
(10時間/1日×25日/1か月×12か月)

・フィルターメンテナンス時間は熱交換気ユニット本体の運転時間を積算し、時間が経過しますと、リモコンスイッチに「フィルター」のメンテナンスサインを表示します。
フィルター清掃後、リモコンスイッチの取扱説明書に従って、積算時間を解除してください。

SW1－3
ON側 ：「フィルター」メンテナンスサイン 無 (リモコンでのメンテナンス表示のサインを消したい時)
OFF側 ：「フィルター」メンテナンスサイン 有

3 機種判別 (工場出荷時設定・OFF側)

・SW1－1は機種判別ですので変更しないでください。

SW1－1
ON側 ：FY-M＊＊ZD8
OFF側 ：FY-M＊＊ZB8

試運転

1 リモコンスイッチ(FY-EB41SR)を使用する場合の試運転

●リモコンスイッチを使用する場合の試運転
リモコンの取扱説明書を参照のうえ、正常に運転することを確認してください。

	操作スイッチ	手順	動　　作	表　示
1		本体の電源を供給します	各モード表示が点灯します。	
2	運転/停止	運転／停止スイッチを押します	運転／停止LEDが点灯し、熱交換気ユニットが運転を開始します。	
3	換気風量	換気風量スイッチを押します	押すたびに風量が強(特強)→弱に切り換わります。	換気風量 強 弱
4	換気切換	換気切換スイッチを押します	押すたびに換気モードが自動換気→熱交換気→普通換気に切り換わります。 （ダンパー切り換え動作のため、換気モードの切り換えに約30秒必要です。その間、送風は停止します。（FY-M650ZD8、FY-M800ZD8、FY-M1KZD8-5、FY-M1KZD8-6タイプのみ））	換気切換 Ⓐ自動 熱交 普通
5	運転/停止	運転／停止スイッチを押します	運転／停止LEDが消灯し、熱交換気ユニットが停止します。（各モード表示は点灯したままです。）	

2 システムコントローラー(CZ-10ESM3)などを使用する場合の試運転

●各システムの取扱説明書を参照のうえ、正常に運転することを確認してください。

異常があった場合

1 異常表示

表示部分	動　　作
本体電装部	基板上のLED(赤)が点滅します。
リモコンスイッチ FY−EB41SR	運転／停止LEDが点滅します。液晶表示部に「点検コード」が表示され、点滅します。 ※停止中は表示されません。

※システムコントローラー（CZ-10ESM3）などを使用している場合は、各システムの取扱説明書・工事説明書を確認してください。

■点検コード一覧表　（本体電装部の場合、基板上の異常表示LED（赤）が点滅します）

点検コード LED点滅回数	異常内容	異常原因	処理内容
E03 1回	本体とリモコンスイッチ（集中管理機器）との通信異常	本体との通信不良	TB2の①③を短絡（外部連動運転状態）して本体が動くか確認してください。 動く場合はリモコンとの接続を確認してください。
E08 2回	アドレス重複	同じアドレスを同一システム内に設定している。	アドレスを確認してください。
E18 3回	複数台運転制御 通信異常	親機・子機の通信不良	親機－子機の伝送線を確認してください。
L03 4回	複数台運転制御 親機設定重複	同親機が複数存在する	SW3の親機、子機の設定を確認してください。
L11 5回	複数台運転制御 接続台数設定不一致（親機）	設定した台数と複数台制御台数が不一致	SW3の複数台の設定を確認してください。
P01 6回	モーター異常	モーターの断線	電源を切り、お買い上げの販売店にお申しつけください。
F11 7回	外気温度センサー異常	コネクターはずれ センサーの断線	
F10 8回	室内吸込温度センサー異常		

試運転が終わりましたら

試運転が終わりましたら、需要家様へ引き渡す際に、システム構成・施工時設定内容使用方法などを十分説明して、工事説明書、取扱説明書をお渡しください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511

Ⓒ Panasonic Ecology Systems Co.,Ltd. 2012

P0612-1082
M15ZB80854A